

会 議 概 要

- 1 会議名 第2回安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり審議会
- 2 日 時 令和6年11月1日(金) 午前10時30分から午後12時
- 3 会 場 市役所本庁舎4階 大会議室
- 4 出席者 (敬称略) 尾碁ゆみ、渡邊さやか、出井博文、丸山文、菊池聡、廣瀬豊、松岡信之、帶刀佳郎、平林良人、原田邦彦、嶋田奈麻美、塚平一彦、降旗幸子、剛佈和、石田悠真、葦木啓夏、鈴木翔子
- 5 担当課出席者 政策部長 児林、人権共生課長 財津、人権共生課長補佐 櫻井、大場、風間、赤羽
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人

1 開会 (人権共生課長)

2 あいさつ (政策部長)

条例に基づき、計画がスタートし、計画に沿って施策の推進がなされている。このメンバーでは1回目の審議会であり、令和6年度の具体的取組について忌憚ないご意見をお願いしたい。

3 協議事項 【発言者 ◎会長 / ・委員 / ⇒人権共生課】

(1) 会長・副会長選出

・会 長：前安曇野市男女共同参画推進審議会会長

元長野県男女共同参画審議会委員

尾碁 ゆみ 様

・副会長：松本人権擁護委員協議会

松岡 信之 様

(2) 令和6年度安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画の推進施策実施状況 (人権共生課説明)

【質疑応答】

・男女共同参画先進事業者の表彰の達成度が×になっているが、民間企業等にある具体的な表彰システムの事例を引っ張ってくるのはどうか。

⇒自治体の表彰システムの事例を検討していたので、民間の事例があることを教えていただき参考になった。

・性的マイノリティへの理解促進において、これからホームページやWEB等を用いていけば安曇野市が取り組んでいる内容を市民だけでなく、全国にも安曇野市の事例が伝わると感じた。またアクセス数も指標になり得る。

⇒ご指摘通り、ホームページやWebを活用すれば、全国的な発信が可能になる。安曇野市の取組を積極的に伝えていきたい。

・性的マイノリティへの相談体制等整備の検討において、安曇野市は窓口が整備されていない現状があると感じる。どこにつながれば良いかをリスト化して整理し、支援を必要とする人を支援につなげる役割を持てれば、相談体制等の整備にもつながると感じた。

⇒相談窓口として専門的な体制を整えるのは安曇野市では難しいと感じている。相談窓口に繋げることを意識しながら広報を考えていきたい。

・「実施を継続」の場合は、継続する施策も一緒に書いてほしい。(子ども家庭支援課の) 該当する施策が無い場合には書かずに外してもよいと思う。

⇒学校等における性に関する学びの機会の提供については、子ども家庭支援課としては具体的な施策がなく、計画に掲載も難しいとの回答を得ている。進捗の管理として、今後どうするのか、これから担当課と相談しながら検討したい。

◎もし外すといった際には慎重に検討して頂きたい。

・当事者の自助サークルの立ち上げなどの際、サポートを行政で行ってもらえると有難い。専門家など支援に入ってもらえるとありがたい。

⇒相談窓口を一覧表にまとめて公開をしている、相談内容に合わせた窓口を案内したい。

・性被害に関しての窓口もあると良いと思った。

・各部局における評価の理解が浸透していない。正しい評価を行ったうえで、今年度の課題を次年度どうするのか、計画に掲載すべき。情報が足りない時には補足するように担当課に指摘してほしい。

◎事務局には今後にかかしてほしい。

・市内でどのくらいの不登校児童がいるのか外国籍の児童まで含めて把握してほしい。併せて、児童労働やヤングケアラー等の把握も必要。

・国際交流基金による団体支援においてクラムザッハに訪問しているが、多大な労力やコストをかけて、一般市民にどういう効果があるのか。農業の生産者不足などの課題もあるため、今後はアジア地域から来てもらえる地域を目指さなくてはならない。

・審議会の進め方において、従来の全体で意見を出し合うやり方でなく、小さなグループで意見交換を行い全体に共有してほしい。せっかく出席してくださったので様々な方の意見を聞きたい。

4 閉会

(以上)